

第1学年B組 社会科（歴史）学習指導案

1 単元名 応仁の乱と戦国大名

2 単元について

(1)単元観

本単元は、「第3章 中世の日本」の「2節 東アジア世界のかかわりと社会の変動」のうち「⑤応仁の乱と戦国大名」としてこの節の終盤となる単元である。すでに前の単元までに、モンゴルの襲来や南北朝時代、室町幕府の生活についてとりあげている。

学習指導要領では、「2 内容」の「(3)中世の日本」において、「ア 鎌倉幕府の成立、南北朝の騒乱と室町幕府、東アジアの国際関係、応仁の乱後の社会的な変動などを通して、武家政治の特色を考えさせ、武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が次第に全国に広まるとともに、東アジアとの密接なかかわりがみられたことを理解させる。」としている。

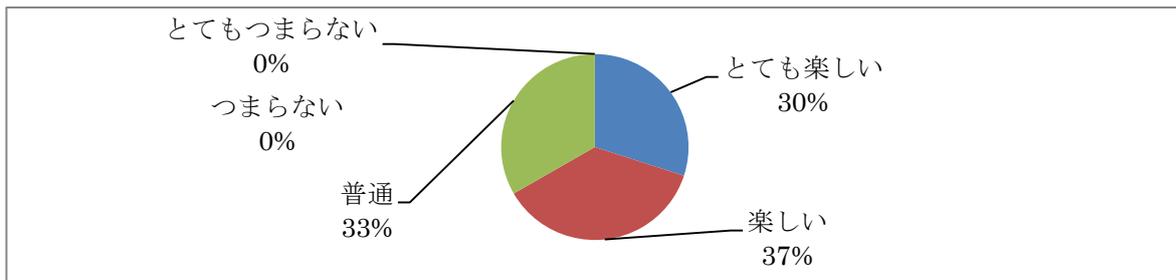
小学校では、織田信長、豊臣秀吉など有名な戦国武将が日本各地に現れたことを中心に学んでいるため、本単元では、応仁の乱を境にして、社会がどう変化していったのか、各地に戦乱が広まる中で地方の武士が力をつけていったことに着目することが大切である。また、本単元を通して、1つの戦争で、世の中が著しく変化していくことから、社会の変容がいかに想像し難いことに気付くことに期待している。また、この後の時代の変遷にも敏感に反応できる生徒に成長できることを期待し、本単元を構成した。

このことから、授業において、積極的な生徒と、そうでない生徒の二極化がすすんでいることがわかる。また、視覚資料や、文章資料の活用が有効であることもわかる。

日頃の社会科の授業で、生徒が社会的事象に対してどのように感じ、どのように活動しているかを把握するため、以下の項目でアンケートを実施した。

【アンケート結果

ア 社会科の授業は楽しいですか？（5つの中から選択）

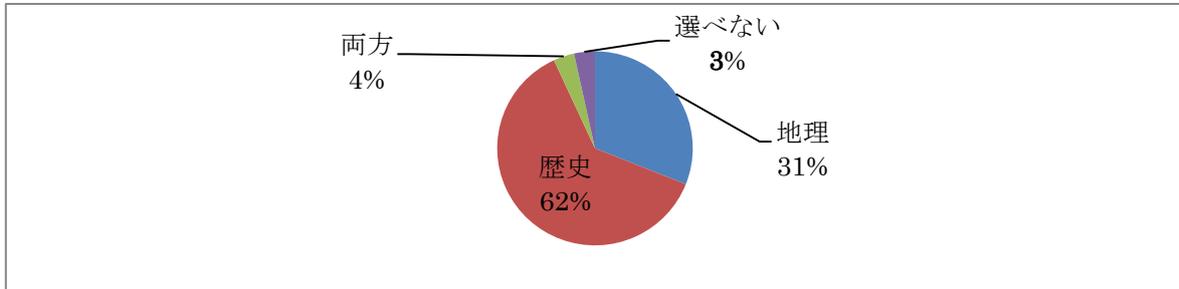


イ アで答えた理由を教えてください。（自由記述）

| | | | | |
|--------|--------------|----------|-------|------------|
| とても楽しい | わかりやすく説明している | 考えるのが楽しい | 社会が好き | ノートをとるのが好き |
|--------|--------------|----------|-------|------------|

| | |
|-----|---|
| | 明るい雰囲気だから 雑学が学べるから |
| 楽しい | 担任の教科だから 班対抗が楽しいから |
| 普通 | 授業で手を挙げられない 話についていけないことがある 社会があまり好きではない 進むのが早い |

ウ 地理と歴史ではどちらのほうが好きですか？



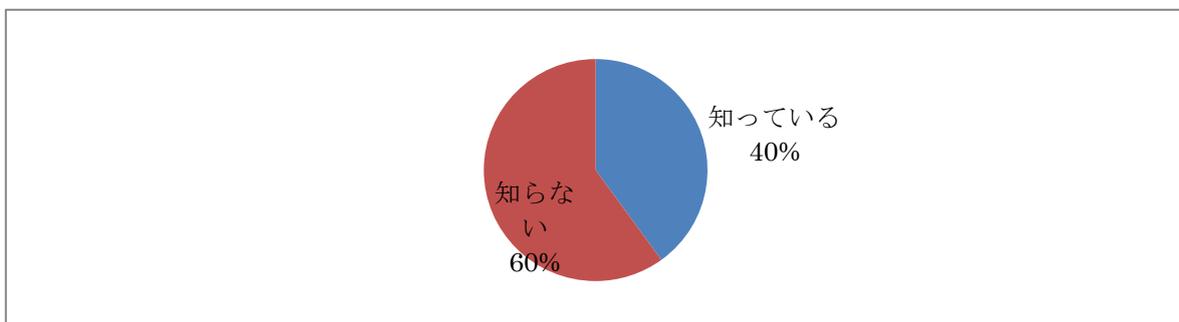
エ ウで答えた理由を教えてください。

| | |
|------|---|
| 地理 | グラフや図から何かを読み取るのが好きだから 歴史は年号を覚えなければならないから 歴史は覚えることが多いから 世界について知れるから |
| 歴史 | 人物の特徴が分かるから 地理の方が難しく感じるから 歴史の方が面白いから 昔の人の生活が分かるから 歴史上の人物が好きだから 大河ドラマをよく見るから 地理には人物が出てこないから 歴史の方がノートをとるのが楽しいから |
| 両方 | どちらも好きだから |
| 選べない | どっちもどっちだから |

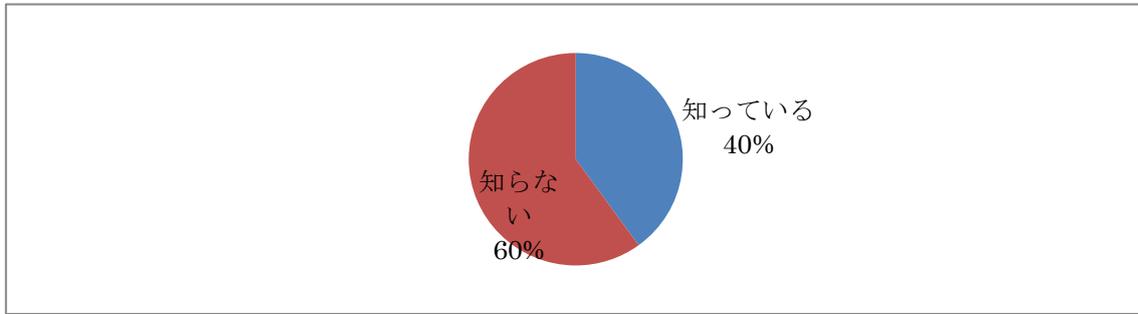
オ あなたの知っている戦国武将を教えてください。(複数可)

| |
|---|
| 織田信長 武田信玄 豊臣秀吉 徳川家康 上杉謙信 明智光秀 足利尊氏 徳川家光 平清盛 源頼朝 黒田官兵衛 武田勝頼 徳川吉宗 真田幸村 石田三成 加藤清正 直江兼続 浅井長政 服部半蔵 坂 上田村麻呂 坂本龍馬 など |
|---|

カ 「応仁の乱」という言葉を知っていますか？



キ 「下剋上」という言葉を知っていますか？



以上のようなアンケートの結果から、1年B組の生徒は、比較的社会科の授業に、意欲的に取り組んでいることがわかる。また、「質問ア」と「質問イ」での、「普通」と答える生徒の多くは、社会に苦手意識を感じている生徒であることがわかる。

「質問ウ」の地理と歴史の比較については、歴史のほうが好きと答える生徒が多かった一方、地理が好きな生徒は、その多くが「歴史に苦手意識を感じる」生徒である。しかし歴史に関して、生徒に共通していえることは、歴史上の人物に関心があることである。

「質問オ」では、戦国武将でない名前も何人か混じっており、戦国武将の理解に誤りのある生徒もいる。また、「質問カ」や「質問キ」でも、授業で取り上げる内容を、半分以上の生徒が予備知識として持ってない。そこで、特に大切なキーワードはより丁寧に説明するなど、展開に軽重付けをして授業に臨みたい。

(3)指導観

意図的に抽象的な発問を多くすることで、生徒がより活発に発言できるようにしたい。また、「予想—調べ学習」の過程を通して説明的知識や概念的知識を獲得していくようにしたい。

授業では、当時の都である、京都で争い（応仁の乱）が起きたことを、現在の東京で同じことが起きたと想定して考えさせるなど、身近な例を提示していく。そうすることで、より生徒が応仁の乱が社会に与えた影響の大きさに気付けるようにしたい。

また、フラッシュカードなど様々な視覚資料を活用することで、社会が苦手と感じている生徒に対しての支援につなげたい。

さらに、発問については、生徒が自ら考え（予測し）、教科書等を利用して調べる時間を多くしたい。その中で、教師が机間支援をすることで、話についていけないという生徒も、落ち着いて学習できる時間をとって学習することができるようにしていきたい。

以上のような取り組みを通じて、どの生徒も積極的な授業参加ができるとともに、基礎基本の定着をはかる授業を目指したい。

3 単元の目標

- ・鎌倉幕府の滅亡から戦国大名の登場までの武家社会の展開，経済の発達と社会の変化，室町文化に対する関心を高め，意欲的に学習しようとする。(社会的事象への関心・意欲・態度)
- ・モンゴルの襲来や日明貿易が日本の政治や社会に与えた影響について，多面的・多角的に考察できる。(社会的な思考・判断・表現)
- ・鎌倉幕府の滅亡から戦国大名の登場までの武家社会の展開，経済の発達と社会の変化，室町文化に関する様々な資料から自分の言葉でノートにまとめることができる。(資料活用の技能)
- ・東アジア世界とのかかわりを背景に，鎌倉幕府の滅亡から戦国大名の登場までの武家社会の展開を理解できる。(社会的事象についての知識・理解)

4 指導計画 (7時間扱い)

| 学習過程 | 時配 | 目標 | 学習活動 | 評価基準 |
|------|-----|---|---|---|
| 見出す | 1/7 | ユーラシア大陸での動き，モンゴルの襲来と日本の対応について理解する。 鎌倉幕府が滅亡した理由を，モンゴルの襲来の影響や社会の変化から考える。 | 1 モンゴルの襲来と日本 (P68～69) ・モンゴル帝国の拡大 ・二度の襲来 ・鎌倉幕府の滅亡 | ○モンゴルの襲来が国内の政治に及ぼした影響を，御家人の動きから考察している。(思考・判断・表現) ○絵画資料から，モンゴル軍の特徴を読み取り，ノートにまとめている。(技能) |
| 見出す | 1/7 | 建武の新政から南北朝の動乱に至る経過を理解する。 室町幕府と鎌倉幕府のしくみを比較して，その特徴をとらえる。 | 2 南北朝の動乱と室町幕府 (P70～71) ・室町幕府 ・南北朝の動乱 ・室町幕府の発展 ・守護大名と地方の動き | ○建武の新政から南北朝の動乱に至る経過や，動乱がもたらした武家社会の変化を考察している。(思考・判断・表現) ○新たな権限を持った守護が守護大名となり，後の政治に影響を及ぼすことに気付いている。(知識・理解) |
| 調べる | 1/7 | 東シナ海をはさんだ中国・日本・朝鮮の結び付きや，蝦夷地の動きをとらえる。 琉球と蝦夷地の人々の交流や結び付きについて理解する。 | 3 東アジアとの交流 (P72～73) ・日明貿易 ・朝鮮との貿易 ・琉球王国の成立 ・アイヌ民族の交易 | ○日明貿易，琉球の国際的役割，蝦夷地の動きなどを地図にまとめている。(技能) ○琉球が中継貿易に活躍し，中国・朝鮮・東南アジアを結び付けていたことに気付いている。(知識・理解) |
| 調べる | 1/7 | 農業や商業・手工業などが発達し，民衆の | 4 産業の発達と民衆の生活 | ○農業や商業・手工業の発達が当時の社会に及ぼした |

| | | | | |
|-------------------|-----|---|---|--|
| | | 力が伸びてきたことを理解する。 畿内を中心に自治的な組織が生まれたことを、土一揆などの様子から理解する。 | (P74～75) ・農業の進歩と手工業の発展 ・商業の発展 ・村の自治 | 影響について考察している。(思考・判断・表現) ○村のおきてや一揆の碑文などの資料から、民衆の成長の様子を読み取り、ノートにまとめている。(技能) |
| 深める 本時 (前半) | 2/7 | 応仁の乱の原因や経過、その後の社会に及ぼした影響について理解する。 | 5 応仁の乱と戦国大名 (P76～77) ・応仁の乱 | ○教科書を使って、応仁の乱の原因を調べ、ノートにまとめている。(技能) |
| | | 戦国大名の登場とその支配について、応仁の乱や下剋上の風潮から考える。 | ・戦国大名の登場と政策 ・自治都市 | ○日本各地に現れた戦国大名に関心を持ち、意欲的に学習している。(関心・意欲・態度) |
| まとめあげる | 1/7 | 代表的な事例を取り上げて、室町時代の文化の特色を理解する。 この時代に生まれた文化で現代に受け継がれているものに関心を持つ。 | 6 室町文化とその広がり (P78～79) ・室町文化 ・武家文化の成長 ・民衆への文化の広がり | ○伝統文化に関心を持ち、室町時代に生まれた文化で現代に受け継がれているものに気付いている。(関心・意欲・態度) ○武家文化と公家文化の融合など、室町時代の文化の特色をとらえている。(知識・理解) |

5 本時の指導

(1)目標

- ・応仁の乱の原因や経過、その後の社会に及ぼした影響についてノートにまとめることができる。(資料活用の技能)
- ・一向一揆の旗から、書いてある内容を予想し、まとめることができる。(思考・判断・表現)

(2)展開

| 時配 | 学習内容と学習活動 | 指導・支援 ○評価 | 資料 |
|------------------------------|--|--|----------------------------|
| <p>導入</p> <p>5分</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・応仁の乱の写真を見て、気付いたことを発表させる。 《生徒の反応》 <ul style="list-style-type: none"> ・戦争 ・訓練 ・元寇の続き ・応仁の乱 ・この写真が応仁の乱という戦いであること、また社会に大きく影響を与えたことを知る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・この戦争が、何故、当時の都、京都で行われていたかに着眼させ、都で大きな戦争が起こると、どうなるかを考えさせる。 ・上記の内容でイメージがわからない生徒に対しては、現在の首都である東京で起きたと想定させ、考えさせる。 | <p>応仁の乱の写真</p> |
| <p>④ 応仁の乱が社会に与えた影響は何だろう？</p> | | | |
| <p>展開</p> <p>35分</p> | <p>発問1 何故、応仁の乱が起こったのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何故、応仁の乱が起こったか、ノートに書いて、予想し、発表する。 《生徒の反応》 <ul style="list-style-type: none"> ・兄弟喧嘩 ・お金が絡んでいる ・権力争い ・天皇、将軍の横暴 ・教科書を使って、応仁の乱が起こった原因を調べ、ノートに書く。 【跡継ぎ問題・守護大名同士の争い】 ・将軍の跡継ぎ問題について、教科書P76³で確認し、8代将軍足利義政の政治に対し関心がないことや、養子をもった後に、子どもが生まれたことに気付く。 ・将軍の権力の衰退から、守護大名が戦いの中心にいたことに気付く。 ・守護大名同士が対立したことを確認する。 <p>発問2 地方ではどんな影響があったか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書で調べて発表する。 《生徒の反応》 <ul style="list-style-type: none"> ・山城の国一揆 | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの戦争の原因をいくつか例であげさせる。なかなか書けない生徒には、身近なトラブルの原因などを挙げ、支援する。 ・机間支援をしながら、書けない生徒には、教科書の該当範囲を示す。 ○教科書を使って、応仁の乱の原因を調べ、まとめているか。(技能) ・導入時に発問した、現在の東京で戦争が起こることの危険性を再確認し、さらに、地方にも影響があるこ | <p>教科書 P76³</p> |

| | | | |
|-----------------------|---|---|--|
| <p>まとめ</p> <p>10分</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・一向一揆 ・戦国大名の登場 ・一向一揆の旗を見て、何と書いてあるのかを予測する。 (班活動・ワークシート) 《生徒の活動》 ・ワークシートに書いてある漢字を個人で考え、気付いたことをワークシートに記入する。 ・少人数グループ(4人前後)になり、気付いたことを発表し合い、他の生徒の気付いた点を自分でもまとめる。 ・最後に、各班の代表がまとめた内容を口答で発表する。 <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>発問3 応仁の乱や一揆がおこり、世の中はどうなったのか?</p> </div> <p>《生徒の反応》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世の中が混乱した ・室町幕府が機能しなくなった ・地方も中央と同じようであっていった。 ・天皇や、貴族、寺社の領地が武士によって奪われた ・(戦国大名が登場した) <p>・授業のまとめをノートに書く。</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>㊦ (中央) 天皇、室町幕府(将軍)が機能しなくなった</p> <p>(地方) 一揆がおこり、民衆も戦争に参加した。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">世の中(日本中)が混乱していった</p> </div> | <p>とを想像させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一向一揆の旗の資料を提示する。 ・もしも、発問1の調べ学習で、一向一揆について書いている生徒がいれば、そのときに指名して発表させる。 ・生徒が書くのに詰まったら、常用漢字でない2つの漢字(楽と無)を明確にする。 ・漢字を読むだけでなく、「極楽・地獄」という言葉から、宗教と関わっていることにも着目させる。 <p>○一向一揆の旗から、書いてある内容を予想することができるか。(思考・判断・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天皇・将軍、守護大名、武士・農民の3つのフラッシュカードを用いて、天皇や、貴族の土地を、武士が奪うという、下剋上の考え方を理解させる。 ・全国各地で戦う人が増える、また、室町幕府、天皇が機能していないことから、世の中が混乱に陥っていくことを理解させる。 <p>・中央と地方に分け、最後に世の中がどうなったのかの順序をしめす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回の告知として、守護大名に変わる新しいリーダーである、戦国大名についてふれる。 | <p>一向一揆の旗の写真</p> <p>ワークシート</p> <p>フラッシュカード</p> |
|-----------------------|---|---|--|

【板書計画】

④ 応仁の乱が社会に与えた影響とは？

Q 何故、応仁の乱が起こったの？

予想

(中央) 将軍の跡継ぎ問題

(地方) 山城の国一揆、一向一揆

守護大名同士の争い

8代将軍
足利義政

⇒ 応仁の乱

ま

(中央) 天皇、室町幕府(将軍)が機能しなくなった

(地方) 一揆がおこり、民衆も戦争に参加した。

世の中(日本中)が混乱していった

【資料】



1 応仁の乱

何^{てかいて}あるの^{だろう}？

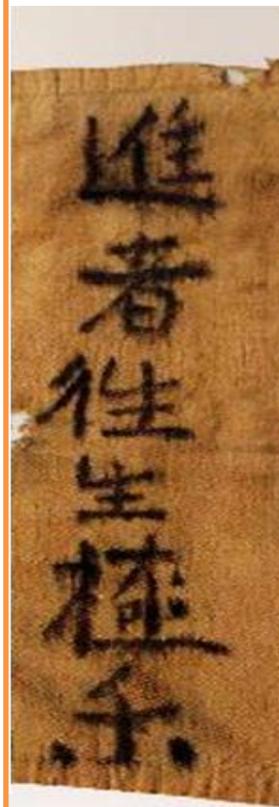


下の旗は、加賀(現在の石川県)で起こった一向一揆の際に使ったものです。これを見て、武士や、農民は士気(やる気)を高めていました。

さて、この旗の漢字は何と書いてあるのでしょうか???右側に予想してみましょう。



訳



訳

自分が気付いたこと

班員が気付いたこと
